

01

アート・スタンダード検定[®]における Blackboard@Tamagawa の活用

芸術学部

芸術学部では、2011年度入学生から「アート・スタンダード検定[®]」というものを実施しています。その目的の第一は、すべての学生を対象に、パフォーマンス・アーツ学科、メディア・アーツ学科、ビジュアル・アーツ学科のそれぞれで開講されている専門科目とのリンクだけでなく、専門的ジャンルを超えて広く芸術全般に互る基礎教養の獲得です。第二に、その幅広い芸術全般に互る基礎教養の獲得は各自の専門性を高める上においても大いに役立ち、また、その芸術の基礎的用語に関する理解能力の深化と広がり、就職活動等に関しても有効に働くであろうと考えているからです。第三の目的は、卒業までに修得することができる限られた履修科目（124単位＝62科目以上）とは別に、狭い専門的ジャンルを越えた芸術の広く豊かな世界へ学生を誘う道標となっている点です。いわば、芸術におけるリベラル・アーツ教育、つまり複数専門獲得の教育です。現代の社会的要請としても、おそらく、今後の芸術教育にとって一つのモデルケースになるでしょう。



図1. アート・スタンダード検定[®]
公式テキストブック

◆検定試験の学習と Blackboard@Tamagawa の活用

3年目を迎えた現在までは、玉川大学芸術学部編『アート・スタンダード検定[®]公式テキストブック』という図書による学習と、Blackboard@Tamagawa(以下 Bb) を利用した検定試験を行っています。

具体的な検定試験の詳細は後述しますので、まず公式テキストブックの内容を概説しておきます。

公式テキストブックには、アート・スタンダード検定[®] 試験に際して出題の基となる解説文約 500 項目が 50 音配列で記されています。また、レベル 1～5 の学習段階が指定されています。解説文は、芸術学部の教員が実際の芸術教育とくに専門科目や各種の資格関連科目の中

で必要とする関連用語を中心に選び、実際の専門教育に従事する教員が執筆しました。さらに、高等学校までに一般化している用語、大学入学後の学習で出会う用語などの基準でレベルを設定しました。項目数は多くありませんが、芸術のほぼすべてのジャンルに及ぶ、世界に比類のない内容の解説書となっていますので、学生だけでなく、芸術全般に興味を持つ一般の人々の利用も可能です。(詳細は同書をご覧ください。ISBN978-4-472-40439-9)。

なお、2012年度から芸術学部の共同研究として、公式テキストブックの電子化と Bb 上での学習に関する基礎的研究も始まりました。

◆ Bb を利用した検定試験

アート・スタンダード検定[®]は、広く芸術の知識を身につけることが目的です。そのためには常に関心を持つことと同時に、いつでも、何回でも学んだ結果を試すことが必要となります。このために Bb を活用したオンライン検定試験を実施しています。この試験のメリットは、いつでも、どこからでも受験でき、結果も同時に確認できるので、何回でもトライできることです。

学生は、Bb にログインし、アート・スタンダード検定[®]試験のコースを開きます。試験問題は 3 択形式で、レベルごとに約 100 問のなかからランダムに出題される 50 問を 50 分間の制限時間で回答しなければなりません。制限時間を過ぎるとその時点で試験は終了となります。いつでも受験できるオンライン試験のメリットを優先しているので、試験中のテキスト

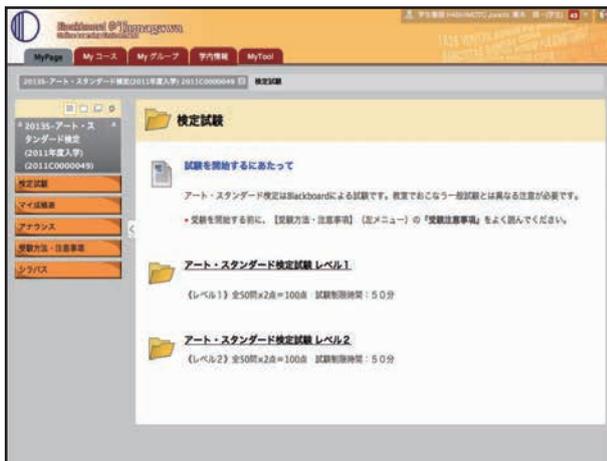


図 2. アート・スタンダード検定[®]初期画面

ブックの参照は禁止していません。ランダムな 50 問はどのジャンルが出題されるかはわからない上に制限時間もあるので、高得点を得るためには言葉と意味をある程度把握している必要があります。このことが知識の獲得につながります。

◆ オンライン試験での工夫

初めての受験時には、レベル 1 の受験が可能になっています。試験はレベル 5 まで各段階がありますが、それぞれの知識をしっかりと身につけてほしいので、下位のレベルを合格しなければ上位のレベルの受験はできないようになって



図 3. アート・スタンダード検定[®]試験問題画面

います。50 問各 2 点で 100 点満点のうち、60 点獲得でレベルの合格です。採点は受験終了時に Bb が自動的におこない瞬時に採点結果が表示されます。

また、Bb の「適応リリース」機能を利用して、レベルごとの試験結果によってバッジが表示される仕掛けを施しています。60 点台は修了証、70 点台はリボン、80 点台はメダル、というように得点によって得られるバッジを変えることで、より良い結果を目指すモチベーションを高めることが狙いです。この結果、すべてのレベルを 100 点満点にするまで何回も受験する学生も現れました。

この試験は Semester 期間中でなくても受験することができるようにしています。Bb のシステムメンテナンスが行われる 8 月および 2 月の時点で試験結果を集計し、レベル 5 まで合格した学生は、次の Semester で単位を認定します。

何回でも受験できるとしても、レベル 5 までの合格は相当の労力を要しますが、この検定の



図 4. アート・スタンダード検定[®]試験終了画面

目的は広く芸術全般の知識の獲得にありますので、試験に合格することは一定の基準をパスしたことを示すに過ぎません。本来の目的である広い知識と教養をもとにした芸術に関する専門性の深化のためには、さらなる学習の継続が必要となります。このアート・スタンダード検定®制度をきっかけにして、より広い視野と一層の深い学びにつながっていくことを期待しています。



図5. アート・スタンダード検定®成績画面

執筆：芸術学部パフォーミング・アーツ学科 法月敏彦
芸術学部メディア・アーツ学科 橋本順一

02 Blackboard@Tamagawa 機能説明

「適応リリース」機能を使用して、テスト結果によって「合格」・「不合格」の項目を表示させたり、難易度を変更したテストを受験させたりすることが出来ます。



図6. テスト結果によって表示させる項目を設定する

◆ 適応リリースの設定方法

テスト受験後に表示させる項目を設定します(図7)。設定した項目の編集オプションより「適応リリース」を選択します(図8)。成績センター列の選択で、該当のテストと表示させる条件を設定します(図9)。

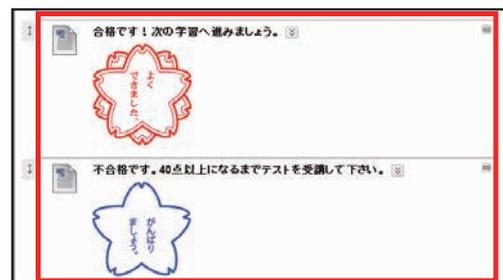


図7. 合格・不合格項目の設定

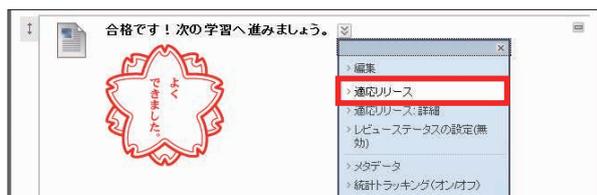


図8. 編集オプション

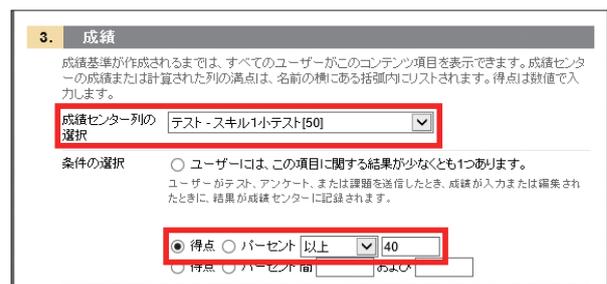


図9. 適応リリースの設定

◆ ランダムテストの作成方法

活用事例で説明がありました、ランダムテストの作成方法は、e-Education Newsletter 2010Vol.2にてご案内しております。バックナンバー(pdfファイル)をBbログイン後のMyPage「教員向けマニュアル・お知らせ」よりダウンロード出来ますので、ぜひご覧ください。

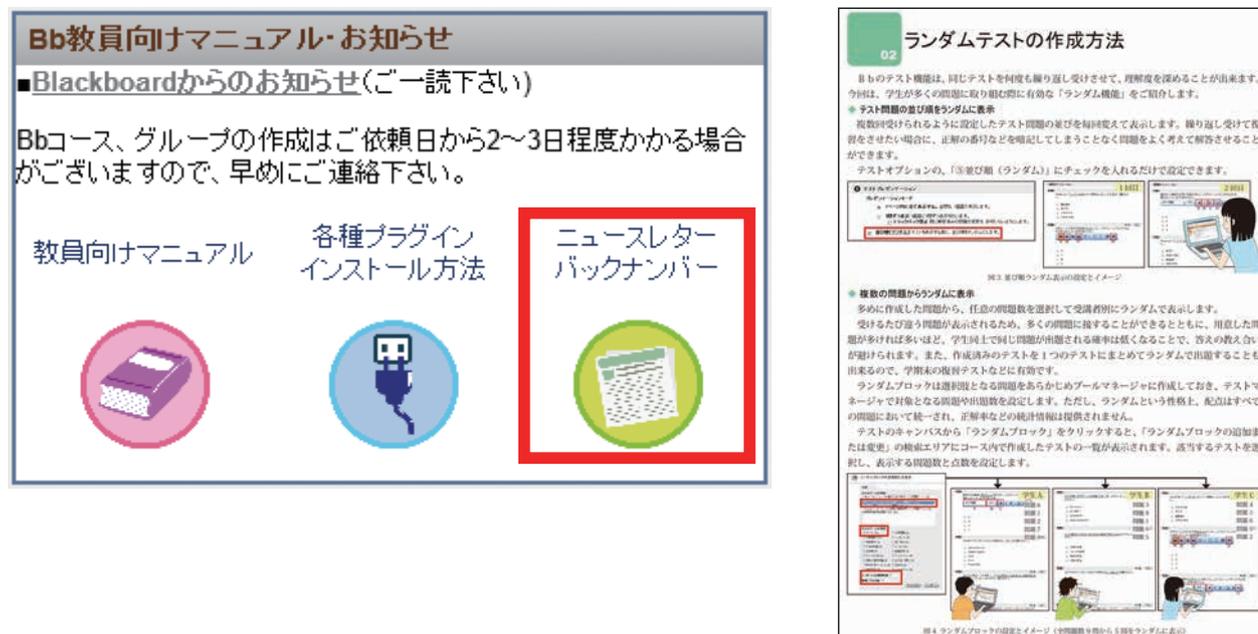


図 10. e-Education NewsLetter バックナンバー検索

IT サポートデスク 活動報告

03

◆ MyPC 講習会

今年度も 4 月 8 日 (月) ~ 4 月 19 日 (金) にかけて、新入生対象の MyPC 講習会を開催しました。

MyPC 講習会では学内におけるインターネットへの接続方法、MyPC プリンタの使用法について主に説明し、多くの学生が受講しました。

上記 2 点は本学の大学生活における必須の項目となります。IT サポートデスクに来室した学生には個別に指導しますので、操作方法がわからないという学生は IT サポートデスクに来室するようご指示ください。

なお、MyPC 講習会を含む学生向け講習会については別途ご報告させていただきます。

◆ 授業サポートの実施

今年度は、文学部比較文化学科、経営学部国際経営学科からの要請を受け「一年次セミナー (比較文化学科)」ならびに「経営の数学 (国際経営学科)」の各授業においてパソコン操作に関する授業サポートを実施しました。

MyPC ネットワークへの接続、MyPC プリンタの使用準備等、学内での PC 使用に関する基本事項に加え、比較文化学科は Microsoft Word 2013、国際経営学科は同 Excel 2013 の基本操作について説明を行いました。



図 11. MyPC 講習会フライヤー

学生からは「ネットワーク接続ができてよかった」「自分の知らない Excel の機能を学ぶことができて有意義だった」(アンケートより)等、好評をいただきました。



図 12. IT サポートデスク 授業サポート風景

◆ 夏期 PC 点検キャンペーン

今年度も、夏期休暇期間中に PC 点検キャンペーンを行います。

例年通りパソコンのリフレッシュはもちろん、ウイルス対策ソフトの無料インストールを実施します(在学生のみ)。パソコンの動きが悪くなった、ウイルス対策ソフトをインストールしていない等の理由で困っている学生は、IT サポートデスクに来室するようご指示ください。

実施期間…平成 25 年 8 月 1 日(木)～8 月 21 日(水) ※土日祝日を除く

受付時間…9:30～17:00(12:00～13:00 は昼休憩のため受付不可)

※パソコンリフレッシュキャンペーンは大学推奨 PC を購入した学生が対象になります。

※ウイルス対策ソフト無料インストールは全学生対象です(Windows PC のみ。Apple Macintosh は対象外です)。

※インストールするウイルス対策ソフトは「Ahnlab V3 Internet Security 8.0」となります。

※先生方の PC 全般に関するご質問も随時受け付けておりますのでぜひお気軽にご来室ください。



図 13. 夏の点検キャンペーン告知ポスター

※夏期 PC 点検キャンペーンの告知ポスターは、IT サポートデスクの学生スタッフ(COSMOS e-STAFF)が制作しました。

IT サポートデスク

視聴覚センター 204 (入口を入って正面奥)

電話: 042-739-8687

e メール: support@tamagawa.ac.jp



Blackboard@Tamagawa 2012年度授業のコース統計

2012年度 Blackboard@Tamagawa の活用率とコース統計結果をご報告します。2012年度春学期、秋学期を通しての Bb コース活用率は 52.5%、専任教員の活用率は 76.5%、学生の活用率は 98.7% となりました。

2012年度で活用率が高かったのは文学部、リベラルアーツ学部、経営学部です。

活用率は 2011年度より下がりましたが、開講授業数が多くなったため、コース数は増加しています。

また、授業以外の学部学科連絡やコスモス祭、課外活動用などに約 200 のグループが活用されました。

Blackboard@Tamagawa 活用推移 (大学全体)

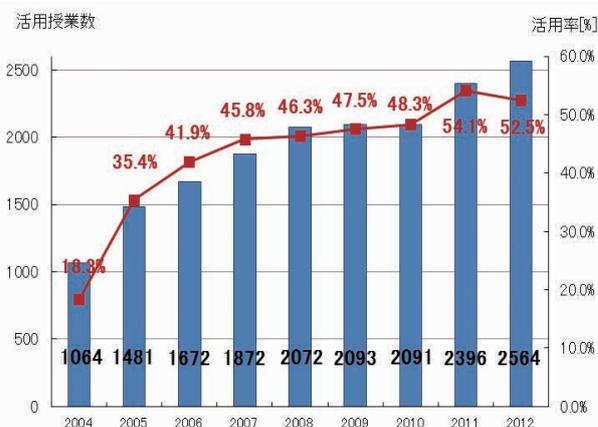


図 4. 授業における Blackboard @ Tamagawa 活用状況

- ①授業数：正式に登録され、開講された授業コード数
- ②活用数：①の授業のうち、Bb を活用した授業コード数
- ③活用率：授業のうち、Bb を活用している割合 (= ② ÷ ① × 100)

表 1. Blackboard@Tamagawa 活用推移 (年度単位)

学部	2005		2006		2007		2008		2009		2010		2011		2012	
	コース数	活用率														
文学部	381	42.6%	423	51.5%	434	57.5%	427	61.8%	319	64.2%	265	64.8%	292	69.9%	304	74.9%
農学部	75	19.0%	138	30.4%	143	40.3%	135	38.3%	155	48.3%	169	49.5%	180	46.5%	168	44.9%
工学部	155	27.7%	258	41.0%	255	46.9%	191	39.9%	207	39.8%	203	40.8%	219	45.3%	213	44.6%
経営学部	449	99.6%	425	97.6%	299	69.9%	378	72.6%	377	77.3%	385	76.3%	396	78.4%	380	73.6%
教育学部	93	17.7%	111	21.0%	160	32.5%	169	30.2%	195	30.6%	226	34.1%	251	38.1%	255	37.7%
芸術学部	79	18.1%	102	24.1%	157	27.9%	153	29.9%	174	34.7%	187	31.5%	267	43.1%	276	40.5%
リベラルアーツ学部					87	79.8%	156	74.9%	222	71.6%	242	71.1%	289	75.9%	260	74.5%
コア	91	25.6%	130	33.0%	187	49.3%	185	48.7%	170	45.5%	183	50.3%	228	60.4%	198	55.0%
教職関連科目	7	20.0%	11	22.4%	14	35.1%	14	40.0%	13	31.7%	15	36.6%	14	35.9%	14	37.8%
総計	1330	35.4%	1598	41.9%	1736	45.8%	1808	46.3%	1832	47.5%	1875	48.3%	2136	54.1%	2068	52.5%

- (注) ①コース数：教室での対面授業を 1 コースとして、授業コード区分別 (各学部、コア / 教職共通科目) に集計。
 ②受講者のべ数、教員実数：利用者を所属学部別に集計。
 ③活用率 (%)：各学部開講授業コードを元に集計。(図. 注釈参照)
 ④コース数と活用率の違い：コース数は、Bb 利用対面授業数を把握する目的で集計。
 活用率は、全授業中の活用の割合を把握するため、授業コードを元に集計。

編集後記

今回は芸術学部全体の取組みとして「アート・スタンダード検定®」をとりあげました。芸術学部生としての基礎力向上という、他学部・学科でも参考になる事例だと思います。

Bb を活用したテストも、受験者の興味を引くさまざまな工夫がなされています。

テスト作成方法は Web マニュアルに記載してはありますが、センターにおきましても随時説明会を行っておりますので、ご興味のある方はぜひご一報ください。

e-Education NewsLetter 2013 Vol.1

2013年7月発行

玉川大学

e エデュケーションセンター

東京都町田市玉川学園 6-1-1

Tel : 042-739-8820

Fax : 042-739-8825

e メール : bbhelp@tamagawa.ac.jp